

「教員の教育活動報告」

※令和元年度4月1日から令和2年度11月30日まで

担当教科 氏名	研究テーマ	研究内容・論文・著作・発表・演奏等	その他の活動等
副校長 平山多郎	①学校マネジメントに関する研究 ②附属学校園の現状についての実態調査（全附属学校運営委員会） ③高等学校の教育課題に関する研究	全附属学校園の現状についての実態調査報告書学校運営について（2020.3 発行） 藝大で学生に対してプレゼンを実施（2019.12.25）	・教職員支援機構（NITS）のオンライン研修の受講（2020.11.6 修了） ・全附属理事会関東地区理事、全附属学校運営委員会委員（2019-2020 年度）
音楽 平川加恵	①様々な楽器編成による創作とその演奏効果についての研究 ②音楽作品の諸要素と身体的に取り込みながら演奏に結びつけることについて促す指導研究 ③和音数字・和音の機能を聴感覚と融合させる力を身につけるための指導研究 ④楽譜上の理解と響きを身体的に融合させるための指導研究	・『In Labyrinth Wind～迷宮の風の中で～』（フェリックス・メンデルスゾーン・パルトルデイ基金演奏会、2021.7.1 初演予定） ・『Cross over』Pf. Sax. Fg. Vc（21世紀音楽の会 第17回演奏会、2021.6.2 初演予定） ・合唱と管弦楽による『静岡県郷土唱歌』オーケストラ編曲（静岡県文化プログラム 静岡県郷土唱歌を歌おうプロジェクト、2021.3.21 初演予定） ・『RUSH TO THE PAST!』チェロ独奏（オペラシティ B→C 山澤慧チェロリサイタル、2020.2.24 初演） ・『月に問ふ、夢のあとさきⅡ』（New Chamber Music 2019、2019.9.24 初演） ・『艶姿女舞衣』（カウンターテナーとチェンバロのための編曲作品）（文楽・声楽～和と洋の融合、2019.8.18 初演） ・『翔る～オーボエとピアノのための～』（オペラシティ B→C 金子亜未オーボエリサイタル、2019.6.25 初演） ・『おぼろげなる思ひに寄せて～11人の奏者のための～』（アンサンブル室町による Lecons de Tenebres 暗闇の聖務、2019.4.12 初演） 令和元年度全国音楽高等学校協議会全国大会にて第3学年「演奏研究」を授業公開（2019.11.8） 「音楽理論」授業内で実施 「聴音」の授業での教材を作成、授業内で実施	・第88回日本音楽コンクール作曲部門審査員（2019.8.21-8.22）
音楽 沼田宏行	邦楽専攻入門者向け副科ピアノ授業カリキュラムの作成	ピアノ演奏実技に経験のない入門者向けの年間カリキュラムの作成を行う。新授業策定の基礎資料の完成を行った。	新授業策定のための基礎資料制作し、新授業開設資料として活用した。（2019.12）

研究紀要 第16集

担当教科 氏名	研究テーマ	研究内容・論文・著作・発表・演奏等	その他の活動等
	ピアノ初見・アンサンブルにおける新授業形態の開発	対面授業における制限を超え、従前の課題とは全く異なる性質を持つ課題の開発を行い、授業効率をあげた。	各教員における研究を纏め、情報交換を行うと同時に、実証授業を並行して行った。(2020.4-9)
	全国音楽高等学校協議会の運営	理事校としてのコロナ禍における協議会の意義と活動を検討し、社会情勢に左右されない効果的活動を模索する。	全国音楽高等学校理事校委員として理事会及び協議に参加した。(2020.5)
	副科ピアノにおける新授業形態の模索と評価方法の開発	実技授業における遠隔授業の在り方と新授業形態における問題点の解決を模索する。更に形態を超えた授業目標の設定と授業効果の評価方法を検討する。	副科ピアノ遠隔試験を実施した(2020.5.28) 教員間連絡及び遠隔試験結果収集に Google Classroom を活用した遠隔討論会開催した。
	ピアノ専門実技における奏法とリズム、そして筋肉組成に関わる研究	「屈筋と伸筋の生理的特徴上の差異に因る固有リズムの解析と応用」、『研究紀要』第16集(東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、2021.3 予定)	
	副科ピアノ実技・音楽1相当における教育法研究	「ピアノ演奏法における練習曲の教育課題およびその必要性と効果」、『研究紀要』第16集(東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、2021.3 予定)	
	緊急時における生徒安全確保の保全実施及び環境向上の研究(学校運営)	教員としての基本資質向上のための救命救急措置講習及び実習を受講した。	「JRC 蘇生ガイドライン 2015」対応、赤十字救急法救急員認定(2019.8.12、日本赤十字社東京都支部)
	学校広報及び生徒募集に対する研究	学校説明会 HP を新設。各専攻科の動画を取り込み新形態 HP の作成を試み、実用化した。(2020.7)	生徒募集終了後、入試案内及び学校渉外ページとして変容させ、対入試対応、楽器寄付対応等実務稼働開始し実績を残す。(2020.11)
	GIGA スクール構想対応、校内 LAN 設置に対する研究	校内 Lan 改良工事に伴う情報保全と校内全領域高速情報化に対応する設計を行い発注する。(2020.9 着工)	校内教室プロジェクターの設置計画発案、事前説明会開催、工事仕様決定、発注施工した。(2020.10 完成)
音楽 那須野直裕	①コロナ感染対策を施しながらの合奏授業実施方法研究 ②教育の現場における著作権・著作権隣接権の研究	・大学指揮科、演奏芸術センター、音楽総合研究センター音響研究室、邦楽科、弦楽科、管打楽器科、大学教務、奏楽堂スタッフと連携して定期演奏会を実施(2020.10.31) ・教職員著作権講習会参加(2020.8.6)	・RMAJ 理事長 ・MPN 理事
音楽 大平記子	①高校生年代におけるフルートエチュードの考察 ②邦楽専攻生における、音楽理論の指導研究	レッスンで実施 ・J. アンデルセン: Op. 15 ・A. フェールステナウ: 音の花束 ・K. エラート 30 caprices 「楽典」から音感や、実際の楽曲を通した音楽理論へ発展させていくことを授業を通して実施	・日本フルート協会会員 ・第73回全日本学生音楽コンクール全国大会審査員(2019.11.28) ・第74回全日本学生音楽コンクール全国大会審査員

教員の教育活動報告

担当教科 氏名	研究テーマ	研究内容・論文・著作・発表・演奏等	その他の活動等
国語 高野慎太郎	①『楽人補任』記載の楽人に関する研究 ②新学習指導要領を見据えた授業づくり ③説話や歴史物語を中心とした院政期文学に関する研究 ④上野学園大学日本音楽史研究所寄託資料の基礎的研究	・「文学史を意識した古典指導—新課程科目「言語文化」を念頭に置いて—」、『国語教室』第111号（大修館書店、2019.10.15） ・「『宇治拾遺物語』橘以長説話再考」、『研究紀要』第15集（東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、2020.3.1）	・上野学園大学日本音楽史研究所兼任研究員 ・令和2年度人間文化研究機構国文学研究資料館共同研究員 ・「上野学園大学日本音楽史研究所寄託資料の基礎的研究」共同研究会（2020.8.11） ・日本国語教育学会、日本文学協会、解釈学会、中世文学学会、仏教文学会所属
地理歴史・ 公民 小林 真	動画配信授業のための動画の作成と、その効果の研究	・通常、教室で行っている、世界史・日本史・現代社会の動画を作成し、Google Classroomで配信した。約4か月の配信後、生徒にアンケートを取り、通常授業との比較を回答してもらった。その後、引き続き休校等に備えて配信動画の作成を継続している。 ・世界史全範囲の動画完成（2020.11） ・日本史約60%の動画作成（2020.11 末日） ・現代社会全範囲の動画完成（2020.11）	
数学・理科・ 情報 宮城浩彰	①新型コロナウイルス感染症拡大下における遠隔教育ツールとしてのGoogle Workspace（旧G Suite）の活用法の構築、提案、生徒への普及 ②数学科における教科横断教材の検討・導入（音楽科） ③理科における教科横断教材の検討・導入（音楽科） ④情報科での実施内容を他教科と連携（国語科） ⑤情報科における教科横断教材の検討・導入（音楽科）	・Google Classroomの設置・活用手法の普及 ・Google Meetの利用方法の普及、生徒利用環境の確認・整備 ・Gmailによる連絡の普及 ・根号の分野にあわせ、十二平均律や倍音列の計算 ・音声の基礎理論を扱う際に必要となる数学的ツール（高校新出の演算記号等）のうち、数学Iにおいて扱いのない領域のさわりを適宜紹介 ・波、音の分野に題材を寄せたほか、物理基礎より一部分野（気柱の共鳴等）を引用 ・プレゼンテーションの実施において評価基準の考え方やプレゼンテーションソフトの利用方法などを共有 ・知的財産権分野において、文化庁発行『著作権テキスト』を用い、具体的な法令等を引用しながら、様々な事例について検討する活動を実施 ・プログラミングの実践において、サウンドプログラミングソフトMaxを利用し、正弦波を操作して音を鳴らすプログラムを実装 ・プレゼンテーション、画像編集ソフトウェアの実習等において、音楽活動における実用を想定したテーマでの制作を実施（検討中）	・東京都高等学校情報教育研究会・個人会員 ・東京都生物教育研究会・個人会員

担当教科 氏名	研究テーマ	研究内容・論文・著作・発表・演奏等	その他の活動等
保健体育 齊藤了介	<p>①音楽高校の保健授業における「演奏者のためのメンタルトレーニング」の指導と研究</p> <p>②音楽高校の体育授業における「現代的なリズムのダンス」の実践と発表</p> <p>③現代バスケットボールにおける「PnRへの攻防」について指導</p>	<p>授業で実施。 スポーツ選手だけではなく、演奏者の多くも心を整え、意識を集中させることが自分のパフォーマンスに大きな影響を与えていることに気付いている。スポーツ心理学を応用しつつ、思考、表情、態度、言葉というツールを使い、自分の心理状態をマネジメント出来るように実践している。</p> <p>授業で実施。 ソルフェージュの指導内容と連携してリズム感の身体的な定着や、リズムを表出する力を伸長するための授業を行った。さらにはグループごとにダンスの発表を行い、互いに鑑賞することで合奏力と共感力の育成につなげた。</p> <p>他私立校の男子高校生を対象に定期的にクリニックを実施。 全国大会であるウィンターカップ2020の出場が決定。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本バスケットボール協会公認コーチ ・東京都バスケットボール指導者研究会
外国語(英語) 中野雅也	統語論(生成文法)の授業への活用	<ul style="list-style-type: none"> ・言語教育エキスポ2020 口頭発表(オンライン 2020.10.25) ・「統語論による英語学習者指導—finite, non-finite の考え方をを用いた理解促進—」、『研究紀要』第15集(東京藝術大学音楽部附属音楽高等学校、2020.3.1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・筑波大学附属高等学校主催「G Suite for Education & Zoomを活用したオンライン授業研究会」参加(2020.5.30) ・令和2年度教職員等中央研修「中堅教員研修」(NITS オンライン研修)(2020.11.6 修了)
外国語(英語) 瀧澤典子	<p>①英語スピーキング・コミュニケーション能力向上のための指導研究</p> <p>②ニーズ分析とその反映</p> <p>③深い学びを促す指導研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言語教育エキスポ2020 口頭発表(オンライン 2020.10.25) ・「英語スピーキング能力向上のための指導研究」、『研究紀要第』第15集(東京藝術大学音楽部附属音楽高等学校、2020.3.1) ・「音楽高校における英語授業の取り組み」、『研究紀要』第16集(東京藝術大学音楽部附属音楽高等学校、2021.3 予定) <p>授業で実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語授業研究会会員 ・ELEC 同友会英語教育学会会員 ・JACET 会員 ・JALT 会員 ・「ELEC 同友会英語教育学会サマーワークショップ2019」参加(2019.8.14-16) ・「『中高現職英語教員プロジェクト』の成果：自立的学習者を育てる J-POSTL を利用した授業改善の実践事例」聴講(言語教育エキスポ2019、2019.3.10) ・「理解にとまらない英語学習—『対話』と『自分ごと化』の促進」聴講(実践英語教育研究会、2020.2.9) ・「深い学びを見据えた教科書レッスンからのタスク作り」聴講(ELEC 同友会英語教育学会、2019.3.30) ・「ディープ・アクティブ・ラーニングを可能にするカリキュラムの開発」参加(東京大学附属中等教育学校公開研究会、2019.2.17)